

平成 26 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 27 年 6 月

中 部 療 育 園

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	2 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	収入証紙取扱額調べ	7 頁
8	収入事務処理状況調べ	7 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9 頁
11	不納欠損額調べ	10 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	13 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	14 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	当該年度における業務の概要	15 頁
23	施設の利用状況	15 頁
	(1) 月別入退園調べ	
	(2) 市町村別在園児童数	
	(3) 年齢別在園児童数	
	(4) 児童退園の状況	
	(5) 障害等級別・年齢別児童数	
	(6) 病類別・年齢別児童数	
24	児童給食状況調べ	16 頁
25	児童診療に要した時間数調べ	16 頁
26	使用料（診療費）の請求等の状況調べ	17 頁
27	主な施設の整備状況調べ	17 頁
28	意見、要望等	17 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>【文書指摘】</p> <p>2 中部療育園について</p> <p>平成23年度決算において、施設が狭隘なため体制及び施設のあり方について検討を進めるべきと文書指摘をしたところですが、平成24年4月から児童福祉法が改正され、発達障がい児への支援など幅広いサービスを実施し利用者が増加したことに伴い、手狭なスペースがますます手狭となっています。また、外来診療が年々増加する中、非常勤医師をやりくりして対応していますが、予約待ちの患者も多く、医師不足も否めません。</p> <p>医療と福祉が合わさったものが療育園であることから、児童及び保護者が相談、診療、訓練を行いやすい、利用しやすい環境づくりが必要であり、喫緊の課題として、体制及び施設のあり方を迅速に検討すべきと考えます。</p>	<p>中部療育園については、平成24年度から総合療育センターの医師（発達障がい専門）に兼務が発令され、平成24年4月から毎月診療を開始するとともに、受診児童の増に伴い、診察室の防音工事を平成24年12月に実施しました。</p> <p>施設のあり方については、平成25年2月に県庁関係機関で今後の中部療育園のあり方について議論するとともに、平成25年3月には利用者（保護者）にアンケートを実施しました。平成25年8月には、中部療育園の保護者等をメンバーとした懇話会を立ち上げ、これまで2回にわたって保護者等からの意見を伺ってきました。</p> <p>また、県全体の療育体制及び医療との連携のあり方を検討する会議を平成27年1月に立ち上げ、その会議の中でこれまでの意見等を踏まえた上で、中部療育園の体制及び施設のあり方について更に検討していくこととしています。</p>

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課 名	係（班）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
中部療育園	—	—	上肢、下肢又は体幹の機能の不自由な児童を治療するとともに、日常生活に必要な知識技能を与える。

#### 4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	26.4.1 現在	当 該 年 度	26.4.1 現在	当 該 年 度	26.4.1 現在	当 該 年 度	26.4.1 現在	
定 員	5	5	3	3	0	0	8	8	
現 員	(0) 4	(0) 4	(0) 4	(0) 4	(0) 0	(0) 0	(0) 8	(0) 8	
過不足(△)	△1	△1	1	1	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	1	1	0	0	2	2	事務職員(医療事務)1、技術職員(医師)1

#### 5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
園 長	(兼) 鱸 俊朗	年 3	月 2	本務 総合療育センター院長
参 事	(兼) 前岡 幸憲	9	2	本務 鳥取療育園長
次 長	藤崎 一志	2	2	分任出納員
次 長	(兼) 谷本 真二	5	2	出納員 本務 倉吉総合看護 専門学校次長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要									
<p>中部療育園費 決算(見込)額 11,577千円 (財源内訳) 使用料・手数料 6,587千円 受託収入 38千円 雑入 85千円 一般財源 4,867千円</p> <p>○将来ビジョン V【支え合う】お互いを認め、尊重して、支え合う</p>	<p><b>〔医療型児童発達支援（通園）〕</b></p> <p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p><b>(ア) 目的</b></p> <p><b>&lt;背景&gt;</b> 中部地域保護者の20数年にわたる肢体不自由児療育機関の開設要望を受けて、平成15年4月に暫定的に皆成学園内に開設し、同年6月から事業を開始。翌平成16年4月現在地に新築移転した。</p> <p><b>&lt;目的&gt;</b> 肢体不自由児（重症心身障がい児を含む。以下、同じ。）及び発達に遅れのある児童に対して、子育てに対する保護者の主体性を引き出しながら、日常生活動作の訓練、指導、相談等必要な療育サービス（福祉サービス及び医療サービス）を提供することによって、それぞれの児童の適性に応じた育ちを支援する。</p> <p><b>(イ) 事業の実施状況</b></p> <table border="1" data-bbox="432 857 1417 981"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度(H27.3月末)</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約者数(定員20名)</td> <td>14名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>635名(2.6名/日)</td> <td>695名(2.9名/日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 全職員、保護者及び保育所等の関係機関が、共通の目標を持って療育ができるよう「子育て検討会」を計画的に実施（児童一人当たり年2回）し、通園児童の「個別支援計画書」の作成及びそれに基づいた療育の提供に努めた。</p> <p>② 利用者の状態やニーズが多岐にわたるため、目的別に児童のグループ分けを実施し、ニーズに適した環境調整や活動内容の充実に努めた。</p> <p>③ 利用された日の通園状況記録「ぐんぐんノート」を作成。家庭や保育所等の関係者に、児童の状態、支援方法を確認、理解してもらうためのツールとして活用している。支援計画に基づいた療育プログラムの実践及びその評価や課題を記載し、地域社会における取組や次回の通園活動へつなげている。</p> <p>④ 児童が地域で生活する場で、保護者が我が子のことを適切に関係者に伝えられ、支援がスムーズに展開・充実するためのツールとして「サポートブック（個人説明資料）」を保護者主体で作成することを勧めている。作成に当たっては職員が確認、助言を行っている。</p> <p>⑤ 保護者間及び職員の情報・意見交換を目的とした集まり「いちごの会」を月に1回実施。保護者や家族の日頃の思いや困りごと、不安などを語り合う中で、解決の糸口が見つけられたり、不安が解消できるような機会を提供している。 また、月に1回、保護者相互の交流を目的とした時間「つどいタイム」を設けている。</p> <p>⑥ 保護者を対象とした専門職種による研修会「おはなし会」を月1回の頻度で今年度も開催した。子どもの生活と遊びを主軸とした日常生活動作や摂食・発音などに関する知識・情報を提供し、保護者の理解を深めて家庭での療育、子育てに役立てていただくことを目的としている。</p> <p><b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <p>① 利用児を適正に評価し、生活状況に合ったよりよい支援の提供を目指して、個別支援計画書作成に係る会議の内容やモニタリング等に使用する書式の見直しを</p>	項目	26年度(H27.3月末)	25年度	契約者数(定員20名)	14名	17名	延べ利用者数	635名(2.6名/日)	695名(2.9名/日)
項目	26年度(H27.3月末)	25年度								
契約者数(定員20名)	14名	17名								
延べ利用者数	635名(2.6名/日)	695名(2.9名/日)								

事業名	概要												
	<p>行った。</p> <p>② 7月から実施したグループ分けに伴い保護者との意見交換会等で目的を丁寧に繰り返し伝えた。また家庭の都合等で利用しにくさがある利用者に対しては、個々に対応し利用の頻度や方法等を検討していった。</p> <p>③ 利用者のニーズに対応し保護者交流の場となるよう、通園行事の内容や方法等を適宜見直して多くの利用者が集える行事の充実を図った。</p> <p><b>ウ 成果</b></p> <p>利用者の現状とニーズを再確認しながら当園の現状と照らし合わせながら、日々行っていたことを一つ一つ見直した。その結果、昨年度課題に上がっていた療育内容の質の向上が図られ、活動の充実や子どもの変化を保護者の方に実感していただくことができた。また、保護者間の交流や地域資源の活用などを目的とした行事の企画により参加者の増加につながった。</p> <p><b>エ 課題</b></p> <p>中部圏域では鳥取大学医学部附属病院や総合療育センターに主治医等がある利用児が多く、他の医療機関と連携する際に、常勤医師がいない当園では、連携がスムーズにいかない場合もある。また、子育て検討会において個別目標を検討する場合にも医療面からの意見を必要とする場合も多く、常勤医師の配置が急がれる。</p> <p><b>【その他の療育支援】</b></p> <p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <p><b>【外来診療】</b></p> <p>発達（知識や運動、言葉、行動や情緒など）に心配や不安、遅れや障がいのある児童の日常生活等に係る子育てや療育についての診察を行う。</p> <p><b>【放課後等デイサービス】（愛称：もこもこ塾）</b></p> <p>小集団での楽しい活動を通じて、子ども達それぞれの運動及びコミュニケーションへの意欲向上を育む。</p> <p><b>【児童発達支援】（愛称：おしゃべり教室）</b></p> <p>就学前の幼児で機能性構音障害（例：力行やサ行の発音が上手にできない等）の診断がある児童に小集団（保護者同伴）での活動を通じて効果的に療育を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p><b>【外来診療】</b></p> <table border="1" data-bbox="432 1682 1417 1848"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度(H27.3月末)</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ診療件数</td> <td>764件(3.2件/日)</td> <td>492件(2.0件/日)</td> </tr> <tr> <td>うち初診件数</td> <td>69件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>うち再診件数</td> <td>695件</td> <td>430件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度(H27.3月末)	25年度	延べ診療件数	764件(3.2件/日)	492件(2.0件/日)	うち初診件数	69件	62件	うち再診件数	695件	430件
項目	26年度(H27.3月末)	25年度											
延べ診療件数	764件(3.2件/日)	492件(2.0件/日)											
うち初診件数	69件	62件											
うち再診件数	695件	430件											

事業名	概要																											
障がい児等地域療育支援事業 決算(見込)額 496千円 (財源内訳) 一般財源 496千円	<p data-bbox="451 309 922 338">【放課後等デイサービス】(もこもこ塾)</p> <table border="1" data-bbox="434 344 1414 468"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度(H27.3月末)</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約者数</td> <td>8名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>92名(2.2名/日)</td> <td>104名(2.5名/日)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="451 510 868 539">【児童発達支援】(おしゃべり教室)</p> <table border="1" data-bbox="434 546 1414 669"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度(H27.3月末)</th> <th>25年度(12~3月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約者数</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>66名(2.9名/日)</td> <td>31(4.4名/日)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="392 712 1117 741">イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p data-bbox="418 752 1414 869">児童発達支援(おしゃべり教室)については、本事業で取り組んだ内容が地域の保育園・幼稚園等で汎化できることを目標に、機能性構音障害への訓練要素を遊びに取り入れ、小集団保育の中での支援を展開した。</p> <p data-bbox="392 896 526 925">ウ 成果</p> <p data-bbox="418 936 1414 1171">おしゃべり教室では、限られた個別リハビリの時間枠の中で、小集団の活動により対応したことで効率的に運営できた。また、構音訓練を専門とする言語聴覚士でなくても、言語聴覚士の助言の下、他職種の対応で構音障害を改善することができた。また、個別リハビリにあっては気づきにくい社会性などの行動上の問題が、小集団で対応することによりスクリーニングでき、必要な療育的対応へつなげることができた。</p> <p data-bbox="392 1198 526 1227">エ 課題</p> <p data-bbox="418 1238 1414 1355">外来診療については、中部圏域のニーズ(発達障害への対応、診療・相談の要請等)が特に多いにもかかわらず、常勤医師の不在等によりその要請に十分に答えることができていない。</p> <p data-bbox="418 1361 1414 1435">また、おしゃべり教室に関しては、地域から運営方法についての講習の依頼が寄せられるなどニーズは高く、効果的な支援のあり方を検討する必要がある。</p> <p data-bbox="403 1485 782 1514">【障がい児等地域療育支援事業】</p> <p data-bbox="392 1525 742 1554">ア 目的及び事業の実施状況</p> <p data-bbox="403 1565 555 1594">(ア) 目的</p> <p data-bbox="438 1606 1414 1680">障がいのある児童、発達に心配や不安のある児童を対象とした相談支援、保育所・学校等に対し地域支援を実施する。</p> <p data-bbox="403 1729 662 1758">(イ) 事業の実施状況</p> <p data-bbox="451 1769 829 1798">【障がい児等地域療育支援事業】</p> <table border="1" data-bbox="434 1805 1414 1966"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度(H26.3月末)</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・支援(保育所訪問等)件数</td> <td>93件</td> <td>90件</td> </tr> <tr> <td>地域療育セミナー</td> <td>H27.3.10開催 参加40名 (倉吉体育文化会館)</td> <td>H26.3.6開催 参加31名 (倉吉体育文化会館)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	26年度(H27.3月末)	25年度	契約者数	8名	9名	延べ利用者数	92名(2.2名/日)	104名(2.5名/日)	項目	26年度(H27.3月末)	25年度(12~3月)	契約者数	1名	2名	延べ利用者数	66名(2.9名/日)	31(4.4名/日)	項目	26年度(H26.3月末)	25年度	相談・支援(保育所訪問等)件数	93件	90件	地域療育セミナー	H27.3.10開催 参加40名 (倉吉体育文化会館)	H26.3.6開催 参加31名 (倉吉体育文化会館)
	項目	26年度(H27.3月末)	25年度																									
	契約者数	8名	9名																									
	延べ利用者数	92名(2.2名/日)	104名(2.5名/日)																									
	項目	26年度(H27.3月末)	25年度(12~3月)																									
	契約者数	1名	2名																									
	延べ利用者数	66名(2.9名/日)	31(4.4名/日)																									
	項目	26年度(H26.3月末)	25年度																									
	相談・支援(保育所訪問等)件数	93件	90件																									
	地域療育セミナー	H27.3.10開催 参加40名 (倉吉体育文化会館)	H26.3.6開催 参加31名 (倉吉体育文化会館)																									

事業名	概要								
	<p><b>【その他】（地域障がい児・者交流会）</b>            地域の障がい児や保育園児等の交流を深めるため「地域障がい児・者交流会」を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="411 472 1393 701"> <thead> <tr> <th data-bbox="411 472 834 510">項目</th> <th data-bbox="834 472 1114 510">26年度(H27.3月末)</th> <th data-bbox="1114 472 1393 510">25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="411 510 834 701">           ・市営プール体験（26.6.19 参加6名、26.8.8 参加4名）            ・「出前かっこ館」の招聘（26.9.10 参加約70名）         </td> <td data-bbox="834 510 1114 701">3回（延べ約80名）</td> <td data-bbox="1114 510 1393 701">2回（延べ40名）</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b>            地域療育支援の依頼があった際に、依頼があった園や学校での現在の取組やニーズを確認し、園内で具体的支援方法について十分検討した上で対応することでより支援が充実するよう努めた。</p> <p><b>ウ 成果</b>            地域療育セミナーにおいても、こども園・保育園、市町の関係者に向けて、地域でスクリーニングをしてもらったケースを支援対象としたい趣旨を発信したところ、単発で終わらない継続した支援につなげていくことに徐々に理解が得られつつある。</p> <p><b>エ 課題</b>            保育園・学校等において、地域療育支援の内容がその後の支援にどう活かされているかの検証を行う必要がある。            また、他の関係機関との役割分担を明確にして、情報を整理した上で適切な支援を充実させていくことが必要と考える。</p>			項目	26年度(H27.3月末)	25年度	・市営プール体験（26.6.19 参加6名、26.8.8 参加4名） ・「出前かっこ館」の招聘（26.9.10 参加約70名）	3回（延べ約80名）	2回（延べ40名）
項目	26年度(H27.3月末)	25年度							
・市営プール体験（26.6.19 参加6名、26.8.8 参加4名） ・「出前かっこ館」の招聘（26.9.10 参加約70名）	3回（延べ約80名）	2回（延べ40名）							

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
民生使用料	児童福祉施設 使用料		191	1,977,094	1,977,094	0	0	健康保険法等	診療報酬
			223	2,751,735	2,751,735	0	0	児童福祉法	医療型児童発達支援給 付費
			57	890,856	890,856	0	0	児童福祉法	放課後等デイサービス 給付費
			45	754,330	754,330	0	0	児童福祉法	児童発達支援給付費
	計(節)		516	6,374,015	6,374,015	0	0		
目計			516	6,374,015	6,374,015	0	0		
合計			516	6,374,015	6,374,015	0	0		

(3) 手数料

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
民生手数料	児童福祉手 数料	児童福祉施設 手数料	66	213,090	213,090	0	0	鳥取県条例	診断書、証明書
		計(節)		66	213,090	213,090	0	0	
目計			66	213,090	213,090	0	0		
合計			66	213,090	213,090	0	0		

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成27年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
保育実習等 研修受託事 業収入	保育実習等研修 受託事業収入		2	38,000	38,000	0	0	中部療育園実習生 受入事業実施要綱	保育実習費
		計(節)	2	38,000	38,000	0	0		
	目計	2	38,000	38,000	0	0			
雑入	雑入	非常勤職員雇用 保険料	12	9,601	9,601	0	0	雇用保険法	
		通園多子軽減額	6	76,085	76,085	0	0	県実施要綱	
		目計	18	85,686	85,686	0	0		
合計			20	123,686	123,686	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
児童福祉施設使用料	196,590	外来診療自己負担金に係る窓口領収額(診療料)
児童福祉手数料	147,200	同上(文書料)
合計	(702件) 343,790	

イ つり銭の状況

(平成27年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	10,000
--------	---	----------	--------

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目		目		節			細節	
		民生使用料		児童福祉施設使用料				
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み (H 年 月作成) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・未作成</span> (未作成の場合、その理由) 未収金の発生が恒常的でなく、いずれも速やかに自主納付されている。				
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)				・実施済み (H 年 月実施) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・未実施</span> (未実施の場合、その理由) 未収金の累積がないため。				
区分	相手方	件数 (人)	相手の 状況	督促状 発行	催告	臨戸 訪問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分	個人	件、人 8	—	○	・文書 — ・電話 —	—	件 —	件 —
過 年 度 分					・文書 ・電話			
(上記以外の取組)								
(取組の効果) いずれも督促状の発付後、1～3週間以内に自主納付されている。								

1 1 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
児童福祉総務費	20,000							
新規以外のもの						20,000		
目計						20,000		
児童福祉施設費	1,403,001							
新規以外のもの						1,403,001		
目計						1,403,001		
合計						1,423,001		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納付 等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 ( 最 終 )			契約形態	履 行 検 査 年 月 日				
				(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間							
児童福祉施設 費	単県	通園バス運転 業務委託料	中央タクシー (株)	981,000	(26.4.1) 単価契約 運転業務 @1,750/時 時間外業務 @2,180/時 車両保管業務 @3,000/月	26.4.1~ 27.3.31	26.3.26 (免除)	26.4.30外	精	26.5.12外	569,945	
							随意契約	26.4.30外				
予定価格が 20万円未満 のもの											133,920	
目 計											703,865	
合 計											703,865	

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建 物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	中部療育園	倉吉市南昭和町15	360.93	42,802,200	増加 減少							360.93	42,802,200	
計			360.93	42,802,200								360.93	42,802,200	
普通財産					増加 減少									
計														
合計			360.93	42,802,200								360.93	42,802,200	

- ウ 山 林 該当なし
- エ 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物 権 該当なし
- カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	46,980 円	65,630 円	86,274 円	26,336 円	
収入印紙	—	—	—	—	
収入証紙	—	—	—	—	
タクシークーポン券	—	—	—	—	
鉄道バスプリペイドカード	—	—	—	—	
合 計	46,980	65,630	86,274	26,336	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
41 枚	0 枚	0 枚 0 円	41 枚

15 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場 該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
乗合自動車 (マイクロバス)	H16	鳥取200 さ274	H16.6.10	47,483 km	H26.6.4	164,848 円	
合計		1 台				164,848 円	

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

## 20 備品の処分状況調べ

(平成27年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備 考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年月日	売払額・ 処分費用	
ノートパソコン (NEC Lavie ULU700R/6)	1台	H13.3.30	4年	円 175,000	H27.2.2	老朽化 修繕不 能。	棄却	機能陳腐化 により売却 困難。	H27.2.6	円 -	
デスクトップ パソコンセッ ト(NECヴァリ ュースターVT 1000J/6-1)	1式	H13.3.30	4	310,000	H27.2.2	老朽化 修繕不 能。	棄却	機能陳腐化 により売却 困難。	H27.2.6	-	
合 計	2			485,000						-	

## 21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

### (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

### (2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成26年11月17日 ～ 平成26年11月25日	・有 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・無</span>	-	-

2.2 当該年度における業務の概要

「6 主な事業に関する調べ」に同じ。

2.3 施設の利用状況

(1) 月別入退園調べ

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区分	前年度 3月末 現在	入 退 園 の 状 況													入退 園 合計	年度末 現在
		入退 園の 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
男	13	入園	1						3						4	11
		退園		1					1					4	6	
女	4	入園								1					1	3
		退園											2	2		
計	17	入園	1						3	1					5	14
		退園		1					1					6	8	

(2) 市町村別在園児童数

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区 分	倉 吉 市	湯 梨 浜 町	北 栄 町	三 朝 町	琴 浦 町						合 計
男	1	3	6	0	1						11
女	2	0	0	0	1						3
計	3	3	6	0	2						14

(3) 年齢別在園児童数

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区 分	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	合 計
男	2	2	2	3	2	0													11
女	0	0	1	2	0	0													3
計	2	2	3	5	2	0													14

(4) 児童退園の状況

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区 分	施設入所	保育所入所	そ の 他	合 計
男		3	3	6
女			2	2
計		3	5	8

(5) 障害等級別・年齢別児童数

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区分	1 級	2 級	3級以下	手続き中	未所持	計
0～3歳	3	0			4	7
4～6歳	2	0			5	7
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

(6) 病類別・年齢別児童数

(平成27年3月31日現在)

(単位：人)

区分	脳性まひ	筋ジストロフィー	ダウン症	精神運動発達遅滞	その他	計
0～3歳	2		1	2	2	7
4～6歳	1	1	1	2	2	7
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

2.4 児童給食状況調べ

(平成27年3月31日現在)

(単位：食)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼食	38	52	46	46	35	30	42	48	46	41	42	40	506

2.5 児童診療に要した時間数調べ

(平成27年3月31日現在)

(単位：時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師	72	69	72	76	71	62	73	72	54	71	69	63	824
理学療法士	25	25	32	32	28	31	45	31	30	48	21	25	373
作業療法士	21	24	20	13	22	20	19	24	20	28	34	23	268
言語聴覚士	34	30	30	35	39	20	38	31	33	31	28	26	375
看護師	85	79	72	95	69	52	88	84	77	84	72	71	928
計	237	227	226	251	229	185	263	242	214	262	224	208	2,768

2.6 使用料（診療費）の請求等の状況調べ

（単位：円）（平成27年5月31日現在）

区分	社会保険診療報酬支払基金					国民健康保険団体連合会					計					被保険者負担	合計	
	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額			
4月																9,900	9,900	
5月	(3,126) 93,658			432	93,226	(1,712) 27,311				27,311	(4,838) 120,969			432	120,537	12,260	132,797	
6月	103,780				103,780	23,032				23,032	126,812				126,812	15,460	142,272	
7月	100,765				100,765	46,492				46,492	147,257				147,257	20,560	167,817	
8月	102,750				102,750	45,060				45,060	147,810				147,810	18,940	166,750	
9月	152,852	1,458			151,394	70,826	880			69,946	223,678	2,338			221,340	19,250	240,590	
10月	(1,458) 120,516				120,516	(880) 30,774				856	29,918	(2,338) 151,290			856	150,434	14,550	164,984
11月	(856) 111,820				111,820	46,163					46,163	(856) 157,983				157,983	24,440	182,423
12月	129,682				129,682	25,567					25,567	155,249				155,249	16,400	171,649
1月	130,233	2,200			128,033	23,025					23,025	153,258	2,200			151,058	14,110	165,168
2月	(2,200) 115,771				115,771	16,956					16,956	132,727				132,727	9,870	142,597
3月	216,852				216,852	54,879					54,879	271,731				271,731	20,850	292,581
計	(5,440) 1,378,679	3,658		432	1,374,589	(2,592) 410,085	880		856	408,349	(8,032) 1,788,764	4,538		1,288	1,782,938	196,590	1,979,528	

（注）再請求分については、請求額欄の上段に（ ）で内書き。

2.7 主な施設の整備状況調べ

該当なし

2.8 意見、要望等

（1）業務に関する意見・要望等

特になし

（2）監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし